

1 古代オリエント世界と地中海世界に関する下の設問に答えよ。

問1 メソポタミア文明に関する文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

民族系統不明のシュメール人は、ティグリス川上流にウル・ウルクなどの都市国家を建設した。

シュメール人は、粘土板に楔形文字を刻み、十進法で時間を数えた。

セム系のアラム人は、バビロンを都とする古バビロニア王国を建てた。

ハンムラビ王の時に最盛期に達した古バビロニア王国は、ヒッタイトにより滅ぼされた。

問2 ヘブライ人とユダヤ教に関する文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

ヘブライ人の建てた王国は、ダヴィデ・ソロモン両王の時代にエルサレムを中心に繁栄した。

ヘブライ王国の分裂後、南のイスラエル王国は新バビロニアに滅ぼされたが、その際多くの人々がバビロンに強制移住させられた。

ヘブライ人の民族的苦難の中で生まれたユダヤ教は、ヤハウェを唯一の創造神とする。

ユダヤ教は、のちにキリスト教を生み、イスラム教にも大きな影響を与えた。

問3 アッシリアとアケメネス朝ペルシアに関する文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

メソポタミア北部からおこったアッシリアは、鉄製の武器と戦車を使い急速に発展し、エジプトを除くオリエントを統一した。

アッシリアは、被征服民を強制移住させたり、重税を課すなど圧政をおこなった。

アケメネス朝ペルシアはダレイオス1世の時代に全盛期を迎え、東はガンジス川から西はエーゲ海北岸に至る大帝国を建設した。

アケメネス朝ペルシアでは、20余の州にサトラップが置かれ、「王の目」「王の耳」とよばれる徴税官が派遣された。

問4 次の文中の(あ)・(い)にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の～のうちから一つ選べ。

ポリスと呼ばれるギリシア人の都市国家は、人々が貴族の指導のもとでアクロポリスやアゴラを中心に集住することによってつくられるものが多かった。ギリシア人はポリスごとに対立、抗争したが、共通の言語をもち、オリンピアの祭典や(あ)の神託などを通じて、同一の民族としての自覚をもっていた。このことは彼らが自らをヘレネスとよび、他民族を(い)とよんで区別したことにもあらわれている。

あ：デルフィ い：バルバロイ あ：デルフィ い：ペリオイコイ

あ：ホメロス い：バルバロイ あ：ホメロス い：ヘロット

問5 アテネの政治に関する文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

ペイシストラトスの改革により陶片追放の制度が始まり、民主政治が成立した。

ペルシア戦争中、アテネはテミстокレスの指揮のもとマラトンの戦いで勝利した。

ペルシア戦争後、クレステネスのもとで無産市民を含む民主政治が完成した。

ペリクレスが死亡した後、煽動政治家が出て民主政治は衆愚政治におちいった。

問6 次の～の文のうち、正しいものを一つ選べ。

マケドニアのフィリッポス2世は、カイロネアの戦いでギリシア軍を破り、デロス同盟のもとにギリシアの諸ポリスを服属させた。

アレクサンドロス大王は東方遠征をおこない、アルベラの戦いに勝利し、セレウコス朝シリアを滅ぼした。

アレクサンドロス大王の遠征からプトレマイオス朝の成立までをヘレニズム時代という。

エジプトのアレクサンドリアにつくられたムセイオンは、自然科学研究の中心であった。

問7 ヘレニズム文化に関する文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

アリストアルコスは地球の周囲の長さをほぼ正確にはかった。

エウクレイデスは平面幾何学を大成した。

「ラオコーン」や「ミロのヴィーナス」はヘレニズム美術の代表作である。

ゼノンは禁欲主義の哲学であるストア派を開いた。

問8 ローマに関する文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

イタリア人の一派であるラテン人は、ティベル河畔に都市国家ローマを建設した。

ローマは北のエトルリア人を撃退したり、南のフェニキア人の植民市を支配したりしてイタリア半島を統一した。

ローマはカルタゴとのポエニ戦争に勝ち西地中海一帯を支配した。

ローマは共和政時代から東方のパルティアと戦った。

問9 以下の4人のローマ皇帝を即位の順に並べるとどのような順番になるか、正しいものを一つ選べ。

アウグストゥス - トラヤヌス - ネロ - ディオクレティアヌス

ネロ - アウグストゥス - ディオクレティアヌス - トラヤヌス

アウグストゥス - ネロ - トラヤヌス - ディオクレティアヌス

アウグストゥス - ディオクレティアヌス - トラヤヌス - ネロ

問10 ローマ文化に関する人物とその説明文の組み合わせとして誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

キケロ - ローマ最大の散文家で、ローマ人へのギリシア思想の普及に貢献した。

ヴェルギリウス - ローマ建国の叙事詩『アエネイス』を著した。

タキトゥス - 『ガリア戦記』でゲルマン人の素朴な姿を描いた。

プリニウス - 『博物誌』を著して当時の知識を集大成した。

2 中世ヨーロッパのキリスト教会に関する次の文章を読み、下の設問に答えよ。

ローマ帝国が東西にわかれ、さらに西ローマ帝国が滅びる混乱のなかで、ローマ教会は、6世紀末の教皇(あ)以来(a)ゲルマン人への布教をさかんにおこなった。やがてローマ教皇はフランク王国に接近し、ピピンがメロヴィング朝を倒してフランク王位につくことを認めた。一方、ピピンは北イタリアの[A]族を討ち、その際得たトスカナ地方を教皇に献じた。これが教皇領の起源となる。やがてピピンの子カールが西ヨーロッパの大半を支配すると、教皇レオ3世は、カールにローマ皇帝の帝冠をさずけ、ここに西ヨーロッパ中世世界が成立する。その間、(b)ビザンツ(東ローマ)帝国ではコンスタンティノーブルの教会を中心に、西ヨーロッパ世界とは異なるキリスト教が発展した。

こうしてローマ教会は西ヨーロッパ全域に精神的権威を確立したが、他方で世俗化が進んだ。これに対して、11世紀にフランスの[B]修道院を中心に肅正運動がおこった。やがて、[B]修道院出身の教皇(い)が教会改革に着手し、聖職叙任権を奪回しようとして神聖ローマ皇帝と激しく争った。この叙任権闘争は12世紀はじめまでつづくが、闘争を通じて権威を高めたローマ教皇の提唱で、やがて(c)十字軍がおこなわれ、教皇権は絶頂に達した。しかし、十字軍がおわったとき、王権はおおしく伸張し、教皇権はふるわなくなった。フランス王(う)は、国内の聖職者に課税しようとして教皇と争い、アナーニで教皇をとらえた。その後、教皇庁は南フランスの[C]に移され、約70年間フランス王の干渉を受けることとなる。この事件を、古代の故事にたとえて[D]という。やがて、教皇がローマにもどると、[C]にも別の教皇がたち、教皇が並立することとなった。教会大分裂(シスマ)とよばれるこの混乱は1414年から開かれた(え)公会議で収拾されるが、教皇の権威は著しく衰退し、代わって王権による中央集権化がすすめられていくこととなる。

問1 文中の空欄[A]～[D]にあてはまる語句を答えよ。

問2 文中の空欄(あ)・(い)にあてはまる人名の組み合わせとして正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- | | |
|------------|---------------|
| あ：グレゴリウス1世 | い：ボニファティウス8世 |
| あ：グレゴリウス1世 | い：グレゴリウス7世 |
| あ：グレゴリウス7世 | い：ボニファティウス8世 |
| あ：グレゴリウス7世 | い：インノケンティウス3世 |

問3 文中の空欄(う)にあてはまる人名と(え)にあてはまる語句との組み合わせとして正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- | | |
|-----------|----------|
| う：フィリップ2世 | え：クレルモン |
| う：フィリップ2世 | え：コンスタンツ |
| う：フィリップ4世 | え：クレルモン |
| う：フィリップ4世 | え：コンスタンツ |

問4 文中の下線部(a)について、ゲルマン民族の大移動について述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

ゲルマン民族の大移動は、東ゴート族がローマ帝国領内に移動したことから始まった。ヴァンダル族は、イタリア半島に侵入しローマを掠奪したのち、イベリア半島に王国を建設した。

フランク族は、北フランスに王国を建設したのち、アタナシウス派のキリスト教に改宗した。

西ゴート族は、テオドリックに率いられてイタリア半島に侵入し、オドアケルの王国を倒して王国を建設した。

問5 文中の下線部(b)について、ビザンツ帝国のキリスト教について述べた文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

ビザンツ帝国のキリスト教会は、ギリシア正教会とよばれた。

ビザンツ帝国のキリスト教会は、皇帝の支配下にあった。

ビザンツ帝国のキリスト教会の代表的建物として聖ソフィア聖堂があげられる。

ビザンツ帝国のキリスト教は、ロシア人やポーランド人にも広くうけいれられた。

問6 文中の下線部(c)について、十字軍についての文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

オスマン帝国がイェルサレムを占領し、さらにビザンツ帝国領に進出したため、ビザンツ皇帝が教皇に支援を要請して十字軍が始まった。

教皇ウルバヌス2世の提唱で第1回十字軍が派遣され、イェルサレム王国が建設された。

アイユーブ朝のサラディンがイェルサレムを奪回したため、第3回十字軍が派遣されたが、聖地の回復はできなかった。

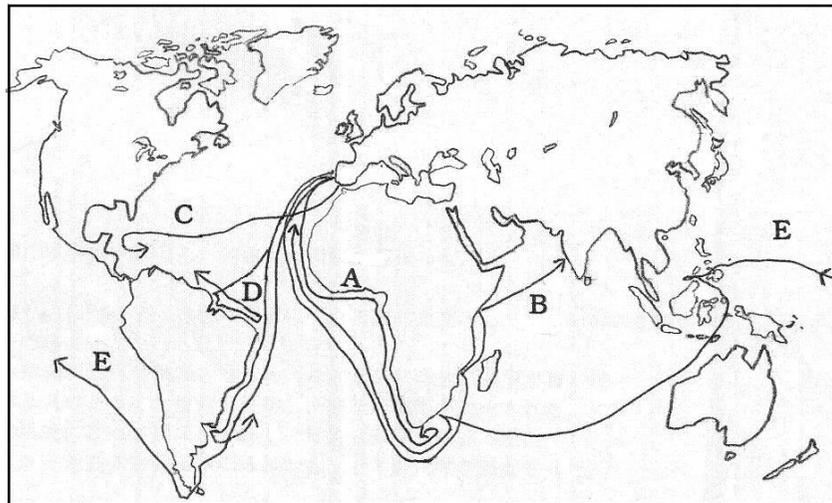
第4回十字軍は、海上輸送を担当したヴェネツィア商人の要求によってコンスタンティノーブルを占領した。

問7 文中の波線部～の中に1つだけ誤りがある。その番号を答え、さらに正しい語句に改めよ。

3 近代の幕開けに関する次の文章を読み、下の設問に答えよ。

14世紀北イタリアに始まる(a)ルネサンスは、(ア)を根本精神とし、人々の精神生活を大きく改変させ16世紀にはヨーロッパ各地へと波及した。(b)ルネサンス期における技術の発展は、15世紀に始まる(c)大航海時代を生み、ヨーロッパに多くのモノを与え、富を求めた人々の対外進出を活発化させる。新大陸からの大量の(イ)の流入は、商業革命・(d)価格革命を引き起こし、人々の経済生活に大きな影響を与えた。また、16世紀に起こった(e)宗教改革は、絶大な権威を持っていたカトリック教会を大きく揺るがし、教会の一極支配から各国を解放し、(f)王権の強化による各国間の戦争を経て、近代国家の原型ともいえる(ウ)を生み出すことになる。

- 問1 文中の空欄(ア)に適する語句を、次のうちから一つ選べ。
自由主義 個人主義 聖書主義 人文主義
- 問2 文中の空欄(イ)に適する語句を、次のうちから一つ選べ。
銀 宝石 絹 香辛料
- 問3 文中の空欄(ウ)に適する体制名を、次のうちから一つ選べ。
ウィーン体制 主権国家体制 帝国主義体制 ベルサイユ体制
- 問4 文中の下線部(a)について、ルネサンスでめざしたのは何文化の再生か。次のうちから一つ選べ。
イスラム文化 古代ギリシア・ローマ文化 ケルト文化
メソポタミア文化
- 問5 文中の下線部(a)について、ルネサンスの保護者でフィレンツェの大富豪を、次のうちから一つ選べ。
フッガー家 ホーエンツォレルン家 メディチ家 ハプスブルク家
- 問6 文中の下線部(a)について、トスカナ地方の日常語で叙事詩を著し、近代国民文学の最初とされるルネサンスの先駆者として有名な人物を、次のうちから一人選べ。
セルバンテス レオナルド=ダ=ヴィンチ ペトラルカ ダンテ
- 問7 文中の下線部(b)に含まれないものを、次のうちから一つ選べ。
羅針盤 避雷針 火砲(火薬) 活版印刷術
- 問8 文中の下線部(c)に関連して、下の地図中A～Eの航路に対応する次ページの表中の空欄に適する語句を【語群】より選び、番号で答えよ。



地図	人名	発見・新航路等
A	バルトロメウ=ディアス	(ア)
B	(イ)	インド航路開拓
C	コロンブス	(ウ)年にサンサルバドル島到達
D	(エ)	新大陸を確認
E	マゼラン	(オ)

- 【語群】 1488 1492 1498 1500
 アメリゴ=ヴェスプッチ ドレーク マルコ=ポーロ
 ヴァスコ=ダ=ガマ ブラジル漂着 部下が世界一周達成
 ニューファンランド島到達 パナマ地峡横断 喜望峰到達
- 問9 文中の下線部(d)に関する説明文として誤りのあるものを、次のうちから一つ選べ。
 ヨーロッパでは物価の高騰が続いたので一般民衆は困窮化した。
 資本の蓄積が進み、貨幣経済化が促され資本主義発展の契機となった。
 貴族・封建領主は固定地代を収入としていたので、この物価騰貴により打撃を受けなかった。
 商人の中には莫大な富を蓄えるものがあらわれ、農民でも富裕化するものが出現し、封建的な身分制度を変化させた。
- 問10 文中の下線部(e)について、宗教改革の先駆者といえる教会革新運動の指導者として、適当でない人物を、次のうちから一人選べ。
 ウィクリフ イグナティウス=ロヨラ フス サヴォナローラ
- 問11 文中の下線部(e)について、サン=ピエトロ大聖堂建設費のために贖宥状(免罪符)販売をおこなったメディチ家出身の教皇は誰か、次のうちから一人選べ。
 レオ10世 カール5世 ユリウス2世 アンリ4世
- 問12 文中の下線部(e)について、ドイツの宗教改革の成果を認めた宗教和議が結ばれた都市はどこか、次のうちから一人選べ。
 トリエント ヴォルムス ヴィッテンベルク アウグスブルク
- 問13 文中の下線部(e)について、カルヴァンが主張した説を何説というか、次のうちから一つ選べ。
 信仰義認説 社会契約説 予定説 王権神授説
- 問14 文中の下線部(e)について、カルヴァン派のネーデルラントにおける呼称を、次のうちから一つ選べ。
 ユグノー ゴイセン ピューリタン プレスビテリアン
- 問15 文中の下線部(e)について、イギリスで自らの離婚問題により国王至上法(首長法)を発し、イギリス国教会の首長を宣言し、宗教改革を断行した王は誰か、次のうちから一人選べ。
 ヘンリ8世 エリザベス1世 チャールズ1世 ジェームズ2世
- 問16 文中の下線部(f)について、熱心なカトリック教徒で対抗宗教改革の推進者でもある、スペイン絶対王政の極盛期の王は誰か、次のうちから一人選べ。
 カルロス1世 フェリペ2世 イサベラ フェルナンド1世

4 以下の文章 A・B を読んで、下の設問に答えよ。

A 18世紀後半以降の世界は、アメリカ独立革命をはじめとして、一連の大きな変動が続いた。イギリスの産業革命、フランス革命そしてラテンアメリカ諸国の独立がそれである。こうした動きを、大西洋革命としてとらえるグローバルな視点が近年提出されている。

- 問1 アメリカ独立革命について述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
砂糖法や茶法の制定に対して植民地側は、「代表なくして課税なし」となえて抵抗した。
ボストン茶会事件の後に第1回大陸会議が開かれ、イギリスとの和解が決議された。
ヨークタウンの戦いが植民地側の勝利に終わったことで、フランスは植民地側に立って参戦した。
独立承認後、連邦主義・人民主権・三権分立を原理とする合衆国憲法が制定された。
- 問2 次の文は「アメリカ独立宣言」の一部である。文中の(あ)・(い)にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の ~ のうちから一つ選べ。

…われわれは次のことが自明の真理であると信ずる。すべての人は平等に作られ、造化の神によって、一定の譲ることのできない権利を与えられていること。その中には生命、自由、そして(あ)が含まれていること。これらの権利を確保するために、人類のあいだに政府がつくられ、その正当な権力は被支配者の同意に基づかねばならないこと。もしどんな形の政府であってもこれらの目的を破壊するものになった場合には、その政府を改革しあるいは廃止して人民の安全と幸福をもたらすに最も適当と思われる原理にもとづき、そのような形で権力を形づくる新しい政府を設けることが(い)であること。以上である。

あ：幸福の追求 い：人民の権利 あ：幸福の追求 い：国家の義務
あ：所有権の不可侵 い：人民の権利 あ：所有権の不可侵 い：国家の義務

- 問3 フランス革命についての事件の順序として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
球戯場の誓い - ヴァレンヌ逃亡事件 - バスティーユ襲撃 - 共和政成立
バスティーユ襲撃 - 球戯場の誓い - 共和政成立 - ヴァレンヌ逃亡事件
球戯場の誓い - バスティーユ襲撃 - ヴァレンヌ逃亡事件 - 共和政成立
バスティーユ襲撃 - 共和政成立 - 球戯場の誓い - ヴァレンヌ逃亡事件
- 問4 フランス革命について述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
ラファイエットらが起草した『人権宣言』には、女性の参政権も盛り込まれた。
封建的特権の廃止宣言は、農民に課せられたすべての貢租を無償で廃止するものだった。
1791年に制定された憲法は立憲君主政であり、ブルジョワ中心の体制をめざした。
ロベスピエールが率いる山岳派は立法議會を主導し、ルイ16世の処刑を決議した。
- 問5 ナポレオンについて述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。
ブリュメール18日のクーデタで政権を握った後、イギリスとアミアン和約を結んだ。
フランス民法典は、私有財産の不可侵、家族の尊重、法の前平等などを定めた。
大陸封鎖令を発布したが、プロイセンのイギリスへの穀物輸出が続きこの政策は失敗した。
モスクワ遠征に失敗した後、諸国民戦争で敗北し、エルバ島に流された。

B フランス革命の理念を輸出したといわれるナポレオンは、ヨーロッパ各地でその反作用としてのナショナリズムの動きを作り出した。1830年と1848年にヨーロッパをおおった革命の嵐は、自由主義とナショナリズムを掲げて戦われた。一方、世界を一つの壮大な分業体制に組み込む近代世界システムが進展していく中で、イギリスへの経済的な従属を避けるために工業化をはかったイタリアやドイツで統一事業がすすめられた。

- 問6 イギリスの産業革命について述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
インド産の綿織物などを愛好する「生活革命」が、産業革命の背景にあった。
鉄道の普及により人間の移動が活発化し、農村から都市へ出稼ぎに出る小作人が増えた。
イギリスの工場法は児童や女性の労働を制限し、貧困者のための社会保障制度を定めた。
機械の導入で長時間労働を強いられた労働者は、機械破壊のチャーチスト運動を展開した。
- 問7 1830年代のヨーロッパについて述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。
パリではオルレアン家のルイ=フィリップを中心とした七月王政が成立した。
ベルギーでは、自由主義的な憲法が制定され、オランダからの独立が達成された。
ロシア支配下のポーランドでは、ニコライ1世にたいして独立をめざす蜂起がおこった。
第1回選挙法改正が実現したイギリスでは、選挙権は資本家から労働者にまで及んだ。
- 問8 1848年頃のヨーロッパについて述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
パリでは二月革命ののち、初の社会主義政権としてパリ=コミュンが成立した。
マルクスとエンゲルスによる『共産党宣言』は、労働者階級による社会主義革命を主張した。
コッシュートが率いるハンガリー独立運動は、オーストリア軍によって粉碎された。
三月革命ののち、ドイツ統一をめざしたドイツ国民議会は、プロイセン王により支持された。
- 問9 イタリアの統一について述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。
ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世は、ナポレオン3世の協力で統一戦争に乗り出した。
統一戦争でロンバルディアを併合したサルデーニャ王国は、中部イタリアも統合した。
青年イタリアのガリバルディが率いる赤シャツ隊は、両シチリア王国を征服した。
「未回収のイタリア」と呼ばれた地域は、第二次世界大戦後にイタリア領となった。
- 問10 ドイツの統一について述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。
プロイセンを中心に成立したドイツ関税同盟成立後、本格的な工業化がはじまった。
ユンカー出身のビスマルク首相は、鉄血政策により社会主義者を弾圧した。
シュレスヴィッヒ・ホルシュタイン問題で始まった普墺戦争は、プロイセンが勝利した。
ヴィルヘルム1世は普仏戦争でナポレオン3世を破ったのち、ドイツ皇帝に即位した。

5 次のA・Bの文章を読み、下の設問に答えよ。

A 前3世紀にマウリヤ朝のアショーカ王は南端を除くインドを支配した。(a)この王は仏教を手厚く保護したので、仏教は大きな発展をとげた。

後1世紀ごろにインド西北部に侵入したクシャーナ朝は、2世紀半ばの最盛期には、中央アジアからガンジス川中流域までを支配した。(b)クシャーナ朝の首都はインドと中央アジアを結ぶ通商路の要衝として栄え、東西の文物が活発に交流した。

4世紀には、ガンジス川を中心にグプタ朝がおこり、(c)インド古典文化の黄金時代が出現した。

7世紀初頭、(ア)を王として再び北インドは統一されたが、王の死後は衰退した。同じころ、(d)スマトラ島南部におこった王国は、海上交易で発展した。

問1 文中の下線部(a)に関して述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。

- スリランカへの仏教布教をおこなった。
- アジャンターの仏像や壁画の制作を援助した。
- ダルマに基づく勅令を石柱碑や磨崖碑に刻ませた。
- 仏典結集を援助し、各地にストゥーパを建立した。

問2 文中の下線部(b)の都市を現在領域とする国名を、次のうちから一つ選べ。

- イラン
- バングラデシュ
- パキスタン
- ネパール

問3 文中の下線部(c)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- 天文学や数学が発達し、十進法による数字の表記やゼロの概念が生み出された。
- 仏教経典の研究が盛んで、中国から訪れた玄奘がナーランダ僧院に学んだ。
- シヴァ神やヴィシュヌ神などジャイナ教の神々への信仰が定着した。
- 宮廷詩人カーリダーサがサンスクリット語の叙事詩『ラーマーヤナ』を作った。

問4 文中の空欄(ア)にあてはまる王を、次のうちから一人選べ。

- チャンドラグプタ
- ハルシャ=ヴァルダナ
- チャンドラグプタ2世
- ヴァルダマーナ

問5 文中の下線部(d)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- アンコール=ワットをはじめとする壮大な遺跡群を造営した。
- スリランカと交流があり上座部仏教がさかんになった。
- 中国の僧義浄がインドへの往復の途中滞在し、記録を残している。
- チャンパー王国と呼ばれ、中国との交易が盛んであった。

B インドにおこった仏教は、1世紀ごろに西域から中国に伝えられたが、南北朝時代の社会不安のなかで、中国に根をおろし、多くの石窟寺院がつけられた。(e)敦煌、雲崗、竜門は特に名高い。また、このころ仏教の普及に刺激されて道教が成立し、(イ)は教団をつくって、(f)北魏の皇帝に保護された。7世紀に大帝国となった唐王朝において、仏教は宮廷と貴族の保護のもとに栄え、浄土宗や禅宗などの宗派が形成された。(g)周辺諸国からの朝貢使節や留学生たちは、先進的な唐の文明の一要素として仏教文化を自国に取り入れた。また、唐の都長安には、(h)景教、祜教、マニ教、回教の寺院もつけられ、国際色が豊かであった。

問6 文中の下線部(e)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- 敦煌にはじめて郡を置いたのは、後漢の光武帝の時である。
- 南朝の都がおかれた建康の近くに造営された雲崗の石窟は、ガンダーラ様式やグプタ様式の影響が見られる。
- 北朝の都がおかれた洛陽の近くに造営された竜門の石窟は、雲崗に比べて中国風の仏像が残されている。
- 竜門の石窟については、仏図澄が『仏国記』の中で記録している。

問7 文中の空欄(イ)にあてはまる人物を、次のうちから一人選べ。

- 董仲舒
- 寇謙之
- 孔穎達
- 張角

問8 文中の下線部(f)に関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- 匈奴の拓跋氏がたてた王朝で、太武帝の時に華北の五胡十六国を統一した。
- 皇帝権が弱く、貴族的で優雅な文化が生み出された。
- この王朝が始めた均田制と九品中正法は、のちに隋王朝に受け継がれた。
- 孝文帝の時に平城から洛陽に遷都し、積極的な漢化政策をうち出した。

問9 文中の下線部(g)に関して述べた文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

- 突厥はモンゴル高原に大遊牧帝国をつくり、安史の乱では唐王朝に援軍を出した。
- チベットではソンツェン=ガンボが吐蕃を建国し、チベット文字がつけられ、チベット仏教(ラマ教)がうまれた。
- 朝鮮半島を統一した新羅では、慶州の仏国寺を中心に仏教文化が栄えた。
- 高句麗滅亡後、中国東北地方に建国された渤海は、唐の制度をよく取り入れて栄えた。

問10 文中の下線部(h)の宗教の説明として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- 景教とは、ローマ帝国からササン朝に広まった、アリウス派キリスト教のことである。
- 祜教とは、ヒンドゥー教のことで、聖典は『マヌの法典』である。
- マニ教とは、ゾロアスター教・仏教・キリスト教を融合した宗教で、ササン朝では国教とされた。
- 回教とは、イスラム教のことで、唐代には南海貿易で栄えた広州や揚州で盛んであった。

6 元代から明・清代の東アジアについての下の設問に答えよ。

問1 次の文中の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の ~ のうちから一つ選べ。

明を建国した朱元璋（洪武帝）は皇帝の親政体制を強めるため（あ）を廃止して行政機関の六部を皇帝に直属させた。また、里甲制を定めて徴税や治安の責任を負わせ、戸籍簿・租税台帳として（い）を作成させた。

- あ：中書省 い：魚鱗図冊 あ：中書省 い：賦役黄冊
あ：軍機処 い：魚鱗図冊 あ：軍機処 い：賦役黄冊

問2 次の文中の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、下の ~ のうちから一つ選べ。

靖難の変で勝利し北京に都を移した（う）は、積極的な対外政策を展開し、北方に対する防衛を強化し、モンゴル高原への親征をおこなうとともに、万里の長城の修築に着手した。また、ムスリムの宦官（え）に命じて、前後7回にわたって、遠くアラビア、アフリカ東岸に達する南海遠征をおこなった。

- う：万曆帝 え：鄭成功 う：永楽帝 え：鄭成功
う：永楽帝 え：鄭和 う：万曆帝 え：鄭和

次の文章は、清の建国と発展について述べたものである。文章を読み、設問に答えよ。

ヌルハチは女真族固有の社会組織をもとに（ア）を整備して兵制を確立し、女真族を統一して後金を建国した。次のホンタイジは内モンゴルをあわせ、朝鮮を服属させて、国号を清と改めた。第3代の順治帝は、（イ）が率いる農民反乱軍が明を滅ぼしたのを機に中国本土に侵入し、呉三桂らに先導されて北京に入城した。
(a)清朝の全盛の基礎を確立したのは（お）である。彼は三藩の乱を平定し、台湾を征服して中国の統一を完成した。また、シベリアを東進してきたロシアとの間に国境確定などを定めた（か）を結んだ。

問3 文中の（ア）にあてはまる語句を、次のうちより一つ選べ。

- 府兵制 募兵制 衛所制 八旗制

問4 文中の（イ）にあてはまる語句を、次のうちより一つ選べ。

- 陳勝・呉広 黄巢 李自成 洪秀全

問5 文中の（お）・（か）にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次のうちより一つ選べ。

- お：康熙帝 か：イリ条約 お：雍正帝 か：アイグン条約
お：雍正帝 か：キャフタ条約 お：康熙帝 か：ネルチンスク条約

問6 文中の下線部(a)の王朝の支配に関する説明文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

清朝は漢族の男子に、女真族の風俗である辮髪を強制して、従わない者を厳罰に処した。

清朝は中国統治の原則として中央・地方の要職を女真族が独占して、漢族にたいする差別政策をとった。

清朝は内・外モンゴル、新疆、青海を間接統治下に置き、理藩院に管轄させた。

清朝は反満・反清の思想・学問に徹底的な弾圧を加えたので、「文字の獄」とよばれる筆禍事件が多発した。

問7 明・清時代の社会・経済に関する説明文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

16世紀以降、日本産の銀とメキシコ産の銀が流入して、中国では紙幣や銅銭にかわって銀が主要な貨幣として流通するようになった。

明代には、両税法にかわって、土地税のなかに人頭税を繰り込んで一括徴収する地丁銀制が確立していった。

16世紀頃から長江下流域では、綿織物・絹織物などの家内手工業が発達して綿花・桑の栽培が盛んになったため、穀倉地帯の中心は長江中流域に移った。

明代後期以降、全国的な活動をする商人が成長し、特に、山西商人と新安商人は大きな勢力を築いたが、これらの商人たちは各地に会館・公所を開設した。

問8 明代の文化に関する説明文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

李時珍が薬物に関する総合書『本草綱目』を著した。

マテオ＝リッチが実測に基づく最初の中国地図『皇輿全覽図』を作成した。

徐光啓が産業技術の図解説書『天工開物』を著した。

宋応星が農政・農業関係の『農政全書』を著した。

問9 高麗に関する説明文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。

王建が建てたこの国では、唐・宋にならって官僚制や科挙を採用した。

モンゴル軍の攻撃を受け、長期にわたる激しい抗戦の後、モンゴルの属国にされた。

国家の保護を受けて仏教が栄え、大蔵經の刊行にみられるような大規模な印刷事業がおこなわれた。

朝鮮民族固有の文字として訓民正音（ハングル）が制定された。

問10 李氏朝鮮に関する説明文として誤りを含むものを、次のうちから一つ選べ。

当初から明と友好関係を結び、明にならって官僚制と科挙を実施するとともに、朱子学を官学とした。

豊臣秀吉による朝鮮侵略に際しては、民衆の強力な抵抗、李成桂の率いる水軍の活躍、明の援軍によって、これを阻止した。

銅活字が普及し、多くの書物が印刷された。

両班とよばれる特権階級が政治と社会を支配した。

7 イスラーム=ネットワークの成立と発展に関する次の文章を読み、下の設問に答えよ。

ビザンツ帝国とササン朝ペルシアの対立が激化した6世紀後半、アラビア半島西部では内陸交易の中継点としてオアシス都市が発展した。そしてメッカの商人であったムハンマドが、ユダヤ教・キリスト教・ゾロアスター教といった外来の宗教の影響を受けて、610年頃に(a)イスラームを創始した。当初は理解されず、迫害を受けたムハンマドたちは、622年にヤスリブ(のちのメディナ)に移住してムスリム共同体(ウンマ)を建設した。いわゆる(ア)である。そして、630年にメッカを征服し、カーバ神殿をイスラームの聖所とした。

彼の死後も(b)正統カリフ時代からウマイヤ朝時代にかけて、「アラブの大征服」が続けられ、中央アジアから北アフリカ、イベリア半島までがイスラーム化し、人・モノ・情報が恒常的に交流するイスラーム=ネットワークが形成されたのである。

750年のアッバース革命によって従来のアラブ帝国はイスラーム帝国へと変化した。アッバース朝は、第5代カリフの(あ)の治世に最盛期を迎え、首都の(い)は、世界最大の人口を誇る都市となった。また製紙法がイスラーム世界に伝わっていたこともあり、(c)イスラームのマドラサ(学院)における学問水準はきわめて高かった。

(d)アッバース朝の衰退とともに、イスラーム諸王朝は政治的分立を深めていった。しかし、それはトルコ人やベルベル人などの活動によるイスラーム世界の拡大でもあった。

(e)10世紀中頃には中央アジアが、11世紀末には小アジア、サハラ以南の西アフリカ、そして北西インドもイスラーム化した。またインド洋から南シナ海にかけての「海の道」では、季節風を利用したダウ船が陶磁器や香料・木綿などを積んで往来し、(f)13世紀以降は東南アジアもイスラーム化していった。こうして拡大したイスラーム=ネットワークは、東方では中華世界と、西方ではペルシア湾や紅海を通じて地中海世界とつながっていた。13世紀後半に(g)「モンゴル(タタール)の平和」を実現したモンゴル帝国は、このイスラーム=ネットワークを利用して、各地域をより強固に結びつけていったのである。

問1 文中の下線部(a)に関する文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- イスラームの教えでは、ユダヤ教におけるヤハウェと、アッラーとは同一である。
- イスラームの教えでは、ムハンマドはアッラーの唯一の預言者とされている。
- 「クルアーン(コーラン)」は、アッラーの啓示とムハンマドの言行録からなる。
- ウラマーは法学者と訳されるが、モスクの管理を任された聖職者のことである。

問2 文中の空欄(ア)にあてはまる語句を、次のうちから一つ選べ。

- シャリーア ワクフ ジハード ヒジュラ

問3 文中の下線部(b)の時代におこった次の4つの出来事を古い順に並べたとき、3番目となる出来事を、次のうちから一つ選べ。

- トゥール=ボワティエ間の戦い 西ゴート王国の征服
- アリーの暗殺 ニハ・ヴァンドの戦い

問4 文中の空欄(あ)と(い)にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- あ：ムアーウィヤ い：ダマスクス
- あ：ムアーウィヤ い：バグダード
- あ：ハールーン=アッラシード い：ダマスクス
- あ：ハールーン=アッラシード い：バグダード

問5 文中の下線部(c)に関して。アラビア語文献の中には、ラテン語に翻訳されたものも多かった。とくにアリストテレス哲学の研究・注釈で中世ヨーロッパのスコラ学に影響を与えた12世紀の人物は誰か、次のうちから一人選べ。

- イブン=シーナー フワーリズミー
- イブン=ルシュド オマル=ハイヤーム

問6 文中の下線部(d)に関連して、イスラーム帝国分裂後の諸王朝に関して述べた文として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。

- ブワイフ朝は、分与地の徴税権を有力者に与えるイクター制を初めて施行した。
- セルジューク朝は、官僚の養成を目的として各地にニザーミーヤ学院を建設した。
- チュニジアから勢力を広げたファーティマ朝は、エジプトにカイロを建設した。
- シーア派の王朝であったアイユーブ朝は、マムルーク朝にとってかわられた。

問7 文中の下線部(e)に関連して、次の[あ] [い]に相当する王朝名を、次のうちからそれぞれ一つ選べ。

- [あ]：11世紀中頃にガーナ王国を滅ぼし、西アフリカのイスラーム化をすすめた王朝
- [い]：13世紀初頭にデリーを都とした、インド最初のイスラーム王朝

- ムラービト朝 ナスル朝 ムワッヒド朝
- ゴール朝 奴隷王朝 トゥグルク朝

問8 文中の下線部(f)に関連して、海上貿易の中心として栄えた東南アジア最初のイスラーム国家を、次のうちから一つ選べ。

- パガン朝 スコータイ朝 マラッカ王国 マジャパヒト王国

問9 文中の下線部(g)に関連して、モロッコのムスリムでモンゴルの交通網などを利用して各地を旅し、後に『三大陸周遊記』を著わした人物を、次のうちから一人選べ。

- イブン=ハルドゥーン イブン=バトゥータ
- ラシード=ウッディーン マルコ=ポーロ

8 次の文章を読んで、下の設問に答えよ。

19世紀、(a)西アジア、(b)インド、(c)東南アジアなどのアジア各地がヨーロッパ諸国の侵略を受けたが、中国も例外ではなかった。

中国の清朝は(d)アヘン戦争での敗戦後、(e)次々と不平等条約を締結させられ、徐々に列強の圧力を受けるようになった。(f)国内では太平天国の動乱が起き、また(g)朝鮮などに対する宗主権も放棄した。

19世紀末に近づくと列強の圧力はさらに強くなり、中国は(h)半植民地状態におちいっていった。1898年には戊戌の変法が行われたが(ア)を中心とする保守派の反対で失敗し、やがて清朝打倒をはかる革命運動も盛んになった。革命運動の中心の一人である孫文は、1894年に革命団体(あ)を結成したが、1905年には他の革命諸団体をも結集して(い)を結成した。

問1 文中の下線部(a)について、19世紀の西アジアに関して述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- エジプトはオスマン帝国から独立し、豊かな国家財政を基礎に繁栄した。
- アラビア半島では、イスラム神秘主義を唱えるワッハーブ派の運動がおこった。
- イランのサファヴィー朝は、ロシアとトルコマンチャーイ条約を結んだ。
- オスマン帝国はタンジマートを実施し、諸制度の西欧化をはかった。

問2 文中の下線部(b)の国を植民地としたイギリスが19世紀後半にとった政策として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- 東インド会社にインド支配をさらに強化させた。
- インド全域を直轄支配するようになった。
- インドに自治を認め、反乱の再発を防止した。
- インド国民会議を開き、反英運動の沈静化をはかった。

問3 文中の下線部(c)に関連して、地図Aのア～エについて述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- アを植民地としたスペインは、ここを根拠地として中国貿易を行った。
- イを植民地としたオランダは、ゴム栽培を進めた。
- ウは国王による近代化政策などにより、独立を保った。
- エを植民地としたイギリスは、強制栽培制度を導入した。

地図A



問4 文中の下線部(d)の時に結ばれた南京条約で中国が開港した都市でないものを、地図Bの～から一つ選べ。

問5 文中の下線部(e)について、1844年にフランスが中国と結んだ不平等条約の名称を、次のうちから一つ選べ。
北京条約 天津条約 黄埔条約 望厦条約

問6 文中の下線部(f)について、太平天国鎮圧後の19世紀後半の中国の状況について説明した文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- 大軍を派遣して鎮圧に協力した列強は、代償に北京駐屯権を得た。
- 義勇軍を組織して鎮圧に活躍した漢人官僚が台頭した。
- 清朝はヨーロッパ文化の摂取につとめ、政治制度などあらゆる分野の改革を進めた。
- 中国では反乱が続発し、列強との関係も悪化した。

問7 文中の下線部(g)について、当時の朝鮮について述べた文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- 欧米諸国によって開国させられ、日本とも日朝修好条規を結んだ。
- 壬午軍乱によって大院君が失脚し、閔氏の権力が強化された。
- 甲申政変によって閔氏が失脚し、日本の影響が強まった。
- キリスト教系の宗教団体の蜂起から、甲午農民戦争が起こった。

問8 文中の下線部(h)について、地図Bのア～エの都市・地域の名称、及びその場所を租借した国名の組み合わせとして正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- ア - 旅順 - ドイツ イ - 威海衛 - イギリス
- ウ - 膠州湾 - 日本 エ - 広州湾 - フランス

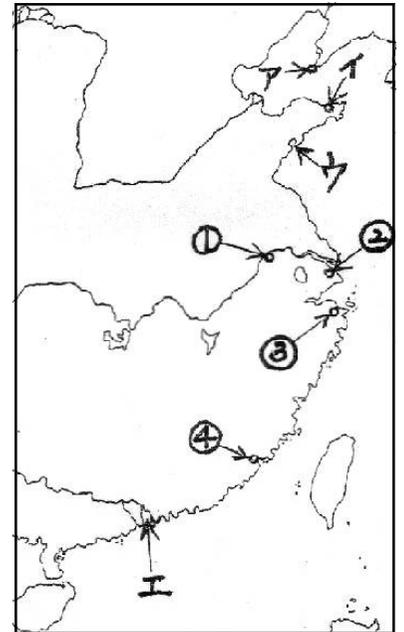
問9 文中の空欄(ア)にあてはまる人物を、次のうちから一人選べ。

- 康有為 曾国藩 西太后 光緒帝

問10 文中の空欄(あ)・(い)にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次のうちから一つ選べ。

- あ：興中会 い：中国同盟会 あ：興中会 い：国民党
- あ：中華革命党 い：中国同盟会 あ：中華革命党 い：国民党

地図B



9 杉原千^{ちうね}畝(1900-86)に関する次の文章を読み、下の設問に答えよ。

杉原千畝は(a)1919年から外務省留学生(ロシア語)となってハルビンで学び、のちに同地の日本領事館に赴任した。さらに(b)1932年からは満州国外交部に勤務して、東清鉄道の譲渡をめぐるソ連との交渉に手腕を発揮し、その後、

ヘルシンキ(フィンランド)
カウナス(リトアニア)
プラハ((c)ドイツ併合下のチェコスロヴァキア)
ケーニヒスベルク(ドイツ統治下の東プロイセン)
ブカレスト(ルーマニア)

の大使館・領事館へ赴任する。

杉原千畝を有名にしたのはカウナス時代(1939-40)の出来事である。すでに(d)ナチス=ドイツはオランダや(e)フランスも占領下に置き、迫害を受けたユダヤ人たちはソ連・日本を通過して他国に脱出する以外、助かる道を閉ざされていた。このため、多くのユダヤ人が日本通過ビザを求めて日本領事館に殺到したのである。杉原千畝は外務省の意向に背いてビザを大量に発行し、はるか時を経た1985年にイスラエル政府からヤド=バシェム賞を贈られた。この賞は(f)イスラエル建国に尽くした外国人に与えられるもので、日本人初の受賞であった。

問1 文中の下線部(a)に関連して、当時ハルビンはロシアの勢力圏に入っていた。1919年のロシア・ソ連の状況について正しく説明した文を、次のうちから二つ選べ。

革命に対する列国の干渉が活発で、日本もシベリア出兵を実施していた。
重工業の発展と農業の集団化を含めた第一次五ヵ年計画が行われていた。
社会主義のあり方をめぐる対立から、トロツキーが国外追放された。
レーニンによってコミンテルン(第三インターナショナル)が結成された。
アメリカ合衆国がソ連を正式に承認し、国際連盟加盟も認められた。
スターリンの独裁体制が確立し、粛清も実施されて個人崇拜の傾向が強まっていた。

問2 文中の下線部(b)に関連して、満州国建国をめぐる動きについて正しく説明した文を、次のうちから一つ選べ。

満州国の執政には、中国東北部の軍閥指導者であった張作霖が就任した。
満州国建国に抗議して、反日・反軍閥をかかげる五・四運動が起こった。
国際連盟が満州国不承認を決議すると、日本は中国の領土保全を定めたロカルノ条約の破棄を宣言した。
満州国建国の背景には軍部の独走があり、建国と同年の五・一五事件で日本の政党政治は崩壊した。

問3 満州国建国以降も日本の中国侵略は続いたが、国民党の待介石は対日抗戦よりも中国共産党への攻撃を優先していた。このような中で、待介石が監禁され、内戦の中止・共産党との連携による抗日戦線の結成を要求される事件が起こった。これを何というか。次のうちから一つ選べ。

盧溝橋事件 西安事件 柳条湖事件 五・三 事件

問4 杉原千畝が赴任した次の国のうち、第一次世界大戦の戦勝国として適切なものを、次のうちから一つ選べ。

フィンランド リトアニア チェコスロヴァキア ルーマニア

問5 文中の下線部(c)のようにドイツの勢力が拡大した背景の一つに、イギリス・フランスの宥和政策が挙げられる。この政策を推進したイギリス首相を、次のうちから一人選べ。

ネヴィル=チェンバレン チャーチル マクドナルド ロイド=ジョージ

問6 文中の下線部(d)に関連して述べた以下の文として正しいものを、次のうちから一つ選べ。

ナチスを率いるヒトラーはミュンヘン一揆に成功して内閣を樹立した。
ナチスは農民や中間層の支持を得るため、共産党と協力した。
ヒトラーは演説などを通して大衆操作を巧みにを行い、アウトバーンの建設など失業対策にも力を注いだ。

イタリアのアルバニア併合をきっかけに、ベルリン=ローマ枢軸が結成された。

問7 文中の下線部(d)に迫害されたユダヤ人たちの行く先の1つがアメリカであった。このことに関して適切に説明した文を、次のうちから一つ選べ。

流入したユダヤ人の影響でジャズが大流行した。
流入するユダヤ人に対する迫害を目的にK.K.K.(クー=クラックス=クラン)が設立された。

この時流入したユダヤ人の中には、ロックフェラーのように財閥を形成する者も現れた。

ユダヤ系物理学者のアインシュタインはアメリカに亡命し、戦後の平和運動に関わった。

問8 文中の下線部(e)に関連して、フランス南部にはドイツに協力的なヴィシー政権が成立した。この政権の国家主席となったのは誰か、次のうちから一人選べ。

ブルム クレマンソー ペタン ド=ゴール

問9 文中の下線部(f)の背景として最も関連の深いものを、次のうちから一つ選べ。

バルフォア宣言 ローラット法 フサイン=マクマホン協定
サイクス=ピコ協定

10 ブラジルにサッカー留学をしたいと考えている二人の高校生が、写真を見ながら話している。二人の会話を読んで、下の設問に答えよ。

- A : ブラジル代表チームはカッコいいね。だけど、いろんな人種が混ざっているな。
B : アメリカ大陸の先住民はモンゴロイドだ。(a) 独自の文明を発達させていたが、大航海時代以降ヨーロッパ諸国の植民地になり、さらに黒人奴隷が輸入されたので、今の中南米の国々は人種が入り交じっている。授業で習ったじゃないか。
A : (b) 黒人奴隷の子孫が人口の大半を占める国もある。なぜだろう。
B : 覚えていないな。でも、多くの国では、独立運動から主導権を握っているのは(c) 中南米出身の白人だ。ベネズエラ出身の(ア)もそうだろう。
A : (d) 独立運動が盛んになった時にいろんな動きがあったね。 結局、一番得をしたのはアメリカ合衆国かな。
B : そうだよ。これ以後アメリカ合衆国は、アメリカ大陸を自分の庭としていったはずだ。(イ)をコロンビアから独立させて(イ)運河を支配下においたのもその例だろう。
A : その前にはキューバを保護国にしたよね。(ウ)と戦争して。この国はサッカーじゃなく野球が盛んだ。
B : キューバを社会主義化した(エ)の方針だろう。そういえば、(e) 「キューバ危機」ってなんだったかな。
A : どうやら僕たち勉強不足だな。しかし、サッカー留学するならまず言葉。早速英語を習いに行こう。
B : おいおい、ブラジルは(オ)だよ。

- 問1 文中の空欄(ア)にあてはまる人物を、次のうちから一人選べ。
シモン=ボリバル トゥサン=ルーベルチュール サン=マルティン
イダルゴ
- 問2 文中の空欄(イ)にあてはまる国名を、次のうちから一つ選べ。
ボリビア エクアドル パナマ アルゼンチン
- 問3 文中の空欄(ウ)にあてはまる国名を、次のうちから一つ選べ。
フランス スペイン イギリス ドイツ
- 問4 文中の空欄(エ)にあてはまる人物を、次のうちから一人選べ。
アジェンデ ペロン バティスタ カストロ
- 問5 文中の空欄(オ)にあてはまる言語を、次のうちから一つ選べ。
スペイン語 フランス語 イタリア語 ポルトガル語
- 問6 文中の下線部(a)に関する説明として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
中央アメリカのユカタン半島では4世紀から9世紀にかけてインカ文明が栄えた。
南アメリカのアンデス高地ではアステカ文明が栄えピラミッドが造られた。
アメリカ原産のトウモロコシ・ジャガイモなどは、旧大陸の食生活に大変革をもたらした。
アメリカの先住民文明では、馬などの大型家畜が飼育されたが、鉄器は使用されなかった。

- 問7 文中の下線部(b)に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選べ。
黒人奴隷は、過酷な労働により激減した先住民(インディオ)にかわる労働力として、アフリカから輸入された。
黒人奴隷は、サトウキビ・綿花などのプランテーションで使役された。
ハイチはフランス革命の影響で、黒人奴隷が反乱を起こし、後に世界最初の黒人共和国として独立した。
メキシコも黒人は多く、メキシコ革命の指導者の一人、マデロも黒人である。
- 問8 文中の下線部(c)の人たちのことを何と呼ぶか、次のうちから一つ選べ。
クリオーリョ メスチーソ エンコミエンダ ムラート
- 問9 文中の下線部(d)に関する説明として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
ブラジルの指導者は、他のラテンアメリカの国々とは逆に、本国との関係を深め、独立ではなく自治を目指した。
アメリカ合衆国大統領モンローは教書においてアメリカ大陸とヨーロッパの相互不干渉を唱えた。
イギリスの外相カニングは、ラテンアメリカ市場への進出を狙い、独立の動きを封じ込めようとした。
フランスは、積極的に独立を支持することによって、ラテンアメリカにおける権益を保持しようとした。
- 問10 文中の下線部(e)に関する説明として正しいものを、次のうちから一つ選べ。
キューバは社会主義化してもアメリカと友好関係を保ち、ソ連と敵対した。
この時のアメリカ大統領はニクソンである。
この時のソ連の首相はフルシチョフである。
この時のソ連の対応に賛同した中国は、ソ連とさらに緊密な関係を結んだ。